

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 4 部門第 1 区分

【発行日】令和 2 年 9 月 3 日 (2020.9.3)

【公表番号】特表 2019-530815 (P2019-530815A)

【公表日】令和 1 年 10 月 24 日 (2019.10.24)

【年通号数】公開・登録公報 2019-043

【出願番号】特願 2018-563882 (P2018-563882)

【国際特許分類】

E 0 1 C 11/02 (2006.01)

E 0 1 D 19/06 (2006.01)

【F I】

E 0 1 C 11/02 A

E 0 1 D 19/06

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 7 月 22 日 (2020.7.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 施工部品・第 2 施工部品間コンストラクションジョイント向けのラメラ施工の橋絡装置 (1) であり、複数個のラメラ (2) と、それらラメラ (2) 間のギャップ幅 (S) を制御する少なくとも 1 個の液圧制御装置 (3) と、を有し、その液圧制御装置 (3) が、1 本の可動ピストン (5) と、そのピストン (5) 上に配置された 1 本のピストンロッド (6) と、を各々有する複動液圧シリンダ (4) を有し、各液圧シリンダ (4) が 1 個のラメラ (2) 上に配置され且つ各ピストンロッド (6) が他の 1 個のラメラ (2) に連結されており、且つ対応する液圧シリンダ (4) の第 1 作動ボリューム (7 a) 及び第 2 作動ボリューム (7 b) の縁が上記ピストン (5) により定まる橋絡装置であって、

上記液圧制御装置 (3) が、液圧連結器 (10) を介し互いに連結された少なくとも 3 本の複動液圧シリンダ (4) を有し、各液圧シリンダ (4) の第 1 作動ボリューム (7 a) が他の 1 本の液圧シリンダ (4) の第 2 作動ボリューム (7 b) に液圧連結されており、それにより上記少なくとも 3 本の液圧シリンダ (4) 間に液圧ループが形成されることを特徴とする橋絡装置。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の橋絡装置 (1) であって、

上記液圧制御装置 (3) が、所定の補償運動を行えるよう工夫されていることを特徴とする橋絡装置。

【請求項 3】

請求項 1 又は 2 に記載の橋絡装置 (1) であって、

上記液圧連結器 (10) が少なくとも 1 個のフローレジスタ (16) を有することを特徴とする橋絡装置。

【請求項 4】

請求項 3 に記載の橋絡装置 (1) であって、

上記少なくとも 1 個のフローレジスタ (16) が、液圧シリンダ (4) の第 1 作動ボリューム (7 a) と、他の 1 本の液圧シリンダ (4) の第 2 作動ボリューム (7 b) と、の間に配置されていることを特徴とする橋絡装置。

【請求項 5】

請求項 1 に記載の橋絡装置（１）であって、
上記液圧制御装置（３）が液圧予荷重されていることを特徴とする橋絡装置。

【請求項 6】

請求項 1 乃至 5 のうちいずれか一項に記載の橋絡装置（１）であって、
少なくとも 1 個の液圧アキュムレータ（１８）を有する橋絡装置（１）であることを特徴とする橋絡装置。

【請求項 7】

請求項 6 に記載の橋絡装置（１）であって、
上記少なくとも 1 個の液圧アキュムレータ（１８）が、ガス充填装置を有し且つ例えばブラダ、ピストン又はダイアフラムアキュムレータであることを特徴とする橋絡装置。

【請求項 8】

請求項 6 又は 7 に記載の橋絡装置（１）であって、
上記少なくとも 1 個の液圧アキュムレータ（１８）が逆止弁（１９）を介し上記液圧制御装置（３）に連結されていることを特徴とする橋絡装置。

【請求項 9】

請求項 8 に記載の橋絡装置（１）であって、
上記逆止弁（１９）がオリフィスプレート逆止弁であることを特徴とする橋絡装置。

【請求項 10】

請求項 1 乃至 9 のうちいずれか一項に記載の橋絡装置（１）であって、
上記液圧制御装置（３）が、上記液圧シリンダ（４）の作動ボリューム（７a, 7 b）を結びつけるホース（１１）を備えることを特徴とする橋絡装置。

【請求項 11】

請求項 10 に記載の橋絡装置（１）であって、
上記ホース（１１）がプラグインカップリング（１２）を介し上記液圧シリンダ（４）に連結されていることを特徴とする橋絡装置。

【請求項 12】

請求項 1 乃至 11 のうちいずれか一項に記載の橋絡装置（１）であって、
少なくとも 1 本のピストンロッド（６）が上記ラメラ（２）に蝶番連結されていることを特徴とする橋絡装置。

【請求項 13】

請求項 1 乃至 12 のうちいずれか一項に記載の橋絡装置（１）であって、
上記液圧制御装置（３）が少なくとも 1 個のポンプ向け連結ポート（１３）を有することを特徴とする橋絡装置。

【請求項 14】

請求項 1 乃至 13 のうちいずれか一項に記載の橋絡装置（１）であって、
圧力変化を検出する監視装置（１４）を有する橋絡装置（１）であることを特徴とする橋絡装置。

【請求項 15】

請求項 1 乃至 14 のうちいずれか一項に記載の橋絡装置（１）であって、
少なくとも 1 個の機械及び／又は弾性ステアリング装置（１７）、例えば駆動クロスビームを有する橋絡装置（１）であることを特徴とする橋絡装置。

【請求項 16】

請求項 15 に記載の橋絡装置（１）であって、
少なくとも 1 本の液圧シリンダが第 1 断面を有する第 1 液圧シリンダ（４a）であり、他の 1 本の液圧シリンダ（４b）が第 2 断面を有する第 2 液圧シリンダであり、第 1 断面が第 2 断面と異なることを特徴とする橋絡装置。

【請求項 17】

請求項 16 に記載の橋絡装置（１）であって、
第 1 液圧シリンダ（４a）の第 1 作動ボリューム（７a）と第 2 作動ボリューム（７b

）との合計が、第２液圧シリンダ（４ｂ）の第１作動ボリューム（７ａ）と第２作動ボリューム（７ｂ）との合計と等しいことを特徴とする橋絡装置。